

# 一般質問



大変助かります



町との“ゆるやかなつながり”見える化

町長は12月議会に町民一人当たり2万円の商品券の追加予算を提案して全会一致で可決。2月13日から商品券を配布を



実施、町民の皆さんから「大変助かる」と喜ぶ声が寄せられている。以下商品券配布について問う。

①商品券の登録店舗数・商品券利用数・換金状況。

②イラン戦争の影響により、長引く物価高騰が予想される。切れない物価高騰対策として、商品券配布事業を制度化す

べきではないか。

町長 私も直接お褒めの言葉をいただいています。

①令和8年2月13日から8月31日までを使用期間として町内の利用登録店でご利用いただいています。3月11日現在の登録店舗総数は224店舗です。商品券使用枚数は

32・8%の利用率です。換金受付は、毎月第2と第4水曜日ですが、担当課に来ていただければ対応します。令和8年9月30日が期限です。

②使用期限終了以降の商品券の制度化については、町単独での同様の物価高騰対策は財政的に大変厳しいものがあります。

週1回の商品券換金を！  
担当課に来ていただければ対応します



第三次香美町総合計画における観光交流の推進に関連し、近年注目される「関係人口」の創出・拡大について、国が創設



を進める「ふるさと住民登録制度」は、その可視化や地域活性化に資するものと考えられる。この制度を町としてどのように捉えているのか、また今後の具体的な取組方針について問う。

町長 本制度は、移住には至らないものの継続的に地域と関わる関係

人口を増やし、担い手確保や地域活性化につながる仕組みと認識している。農林水産業の人手不足や空き家管理、災害時支援などへの効果や、移住への段階づくりとしての意義が期待される。一方で、登録数の増加のみでは効果が見えにくく、運用負担の増加も懸念さ

れるため、制度設計を含め今後慎重に検討していきます。

ふるさと住民登録制度に取り組みべき  
制度設計を含め今後慎重に検討します

